

令和6年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台東小学校	校長	柳川 大蔵	生徒指導主事	倉田 正昭
取組事例名	『児童の主体性を育む「ゆびとま」活動』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
<p>全校規模で、児童の意欲や期待を最大限に尊重した活動の機会を提供することによる主体性の喚起及び必要な支援を受けながら計画を実現させることによる実行力の育成を図る。</p>	<p>○学校への所属感をもつ児童 ○学校をよりよくしたいという思いをもつ児童 ○主体的に計画し、行動する児童 ○同じ志をもつ仲間と協働する児童</p>



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>【取組例】</p> <p>〈内容〉 ○自主的なボランティア活動 ○自主的な委員会活動 ○自主的な集会活動 等</p> <p>〈手順〉 ①提案児童からの要望の受付 ②職員による提案内容の精査 ③担当職員によるサポートプラン作成 ④校長の許可 ⑤提案児童との計画案の作成 ⑥全校児童への周知 ⑦提案児童と賛同児童による実行 ⑧提案児童による振り返り ⑨職員による評価とフィードバック</p> <p>⑤計画案の作成 ・実施日 ○月○日(○) 昼休憩 ・全校への周知 実施日1週間前 方法：給食時間の放送及びポスター ・集合：中庭の池の前 ・全体への指示や説明は提案児童 ・作業の指示は職員 ・時間厳守</p> <p>①要望の受付：中庭の池をきれいにしたい。 ↓ ②内容の精査 視点：◎学校の諸規則に反しない。 ◎全校児童に利益がある。 ◎費用負担なし（または少額）。 ◎一定期間内に完了する。 ◎安全である。 等 ↓ ③サポートプラン作成 ○地域から排水ポンプの借用 ○バケツ・スコップの用意 ○家庭用ビニールプールの用意 ○必要であれば地域ボランティア 等 ↓ ④校長の許可 A：可決 B：修正案の再提出 C：否決 ↓ ⑥全校への周知 ・提案児童 ・放送 ・ポスター ・受付期間設定 ↓ ⑦実行 ・雨天延期 ↓ ⑧振り返り ・成果と感謝の報告 ↓ ⑨評価とフィードバック ・主体性と実行力の向上</p>	<p>児童にめあてをもたせるために ○計画案を作成させることを通して、見通しをもって活動ができるようにするとともに、必要な作業や留意点に気付けるようにする。</p> <p>児童の意欲を高めるために ○賛同した職員によるサポートプランや関係職員の助言等、児童の思いや願いに寄り添う姿勢や支援を行う。 ○校長への計画案の説明の場を設けることで提案者としての自覚をもたせるとともに、学校に貢献しているという実感をもたせる。</p> <p>児童の頑張りを認め、価値付けるために ○活動の記録を児童玄関前に掲示し、全校児童への周知を図る。 ○学校だより等にて保護者や地域への周知を図る。 ○提案者及び参加した児童に名刺サイズの「参加証」を渡す。</p>



3 成果と課題
<p>成果</p> <p>○活動に参加した児童の学校への所属感が高まった。 ○児童の思いや願いに寄り添おうとする職員風土が醸成された。 ○問題行動や不登校の未然防止の効果があつた。</p> <p>課題</p> <p>○活動の輪をより多くの児童に広げるための工夫が必要である。 ○自由度を高め、より多様な児童の創意工夫を引き出す工夫が必要である。</p>